

第39回全日本マイクロマウス大会 協賛、機器展示、スポンサー募集要項

ロボット系求人広告、企業紹介、製品紹介媒体のご提案資料

2018年9月末募集締め切り
2018年10月末原稿締め切り



公益財団法人ニューテクノロジー振興財団

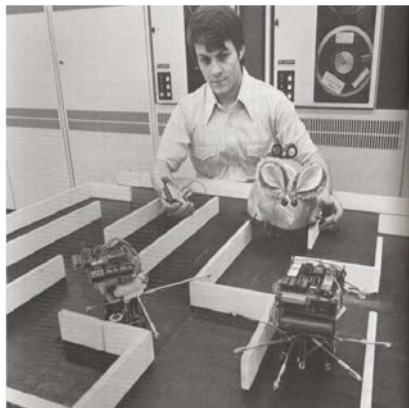
協賛、機器展示、スポンサー募集のご案内

- 全日本マイクロマウス大会は、将来を支えていく為の若手技術者の人材育成事業として公益財団法人ニューテクノロジー振興財団（以下、NTF）が1980年から毎年開催しているロボット競技会です。
- 個人やサークル、教育の現場において、マイクロマウスロボットの製作を行っている人は多く、全日本マイクロマウス大会に向け、多数の方が活動しているなど、技術の習得、教育、国際親善・連携に大きな役割を果たしており、日本でも将来を支えていく為の若手技術者の人材育成事業として大きな貢献をしています。
- 1980年の開催以来、1万人以上のエンジニアを輩出しており、産業界でもマイクロマウス大会出身者の評価は非常に高いと自負しております。
- NTFでは、競技会を開催するためのスポンサーを広く募集しております。ぜひご協力をお願いいたします。

大会概要

- 大会名 : 第39回全日本マイクロマウス大会
- 場 所 : 東京工芸大学 厚木キャンパス
- 日 時 : 2018年12月1-2日(予定)
- 主 催 : 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
- 共 催 : 東京工芸大学
- 後 援 : 経済産業省、文部科学省、公益社団法人計測自動制御学会、
一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ロボット学会（予定）
- 運 営 : マイクロマウス2018実行委員会
[実行委員長：鈴木秀和(東京工芸大学)]
- 運営協力：マイクロマウス・サポーターズ、ほかマイクロマウス関係団体

マイクロマウスとは？



コンピュータ研究の実証実験から始まった、 知能ロボット進化へのユニークな取り組み

マイクロマウスとは、マイクロコンピュータ（マイコン）を搭載した自立型の知能ロボットが、自律制御によって未知の迷路を走破してゴールへ到達するまでの最短時間を競う、ロボット競技およびロボットの名称です。

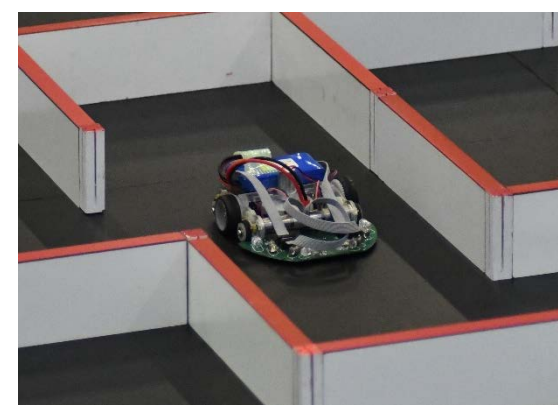
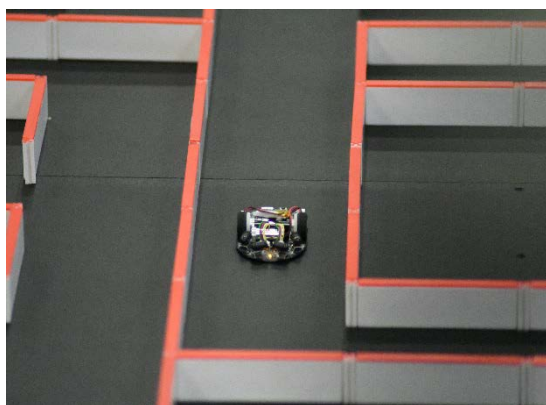
マイクロマウス競技は、1977年にIEEE（米国電気電子学会）が、マイクロコンピュータの可能性の実証を行なうための競技として提唱したことに始まり、1979年に全米大会、1980年には欧州と日本で大会がスタートしました。



ロボット自身が状況を把握し、思考し、行動する。 本物志向の知能ロボットコンテスト

マイクロマウスはスタートスイッチを押したらその後はすべてロボット自身のAI（人工知能）に委ねられる自律型であり、技術開発の難度が高いことが面白さの特徴です。

製作者はメカ、ハード、コンピュータの技術を駆使し、いかに“賢い”自前のロボットを作り上げることができるかが勝負どころ。競技や見た目は至ってシンプルながら、本物志向のロボット愛好家を虜にしてやまない、最高峰のロボット競技です。

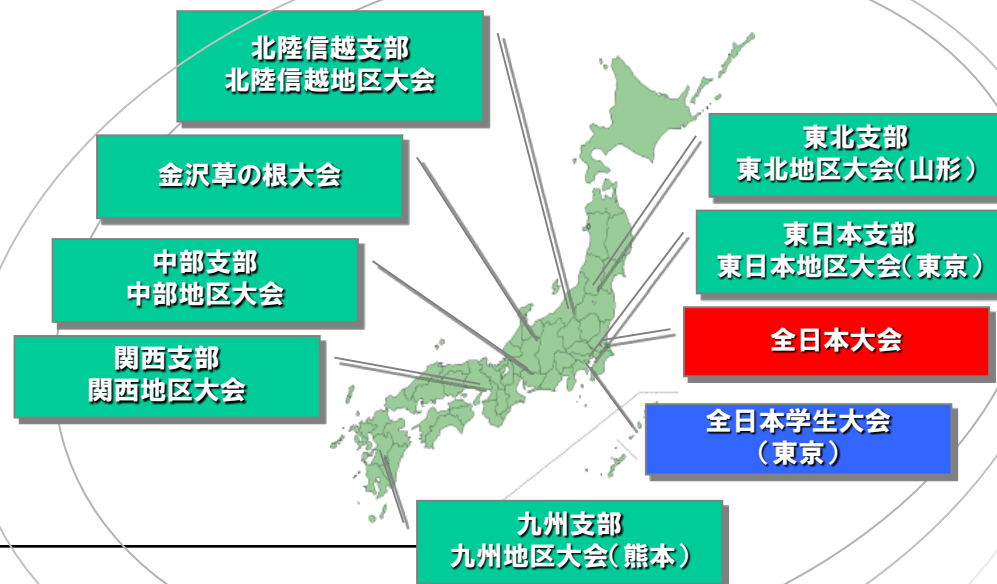


日本の地区大会

全国7地域の教育・研究者や愛好家がボランティア精神で地区支部を組織。草の根レベルの活動は地道に続いています。

マイクロマウス大会は、全国7ヶ所で開催される地区大会、全日本学生大会、持ち回りで開催する全日本大会と、各地域の人々に支えられる形で運営しています。

各支部大会にも全国から学生が集まり、地区大会にもかかわらず100台を越すエントリーがある大会もあります。

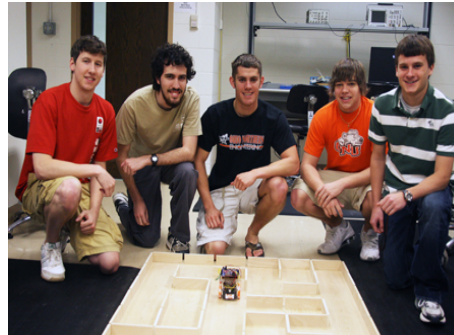
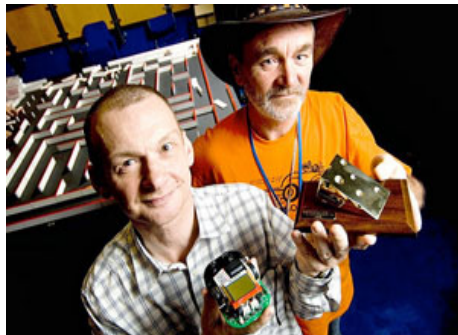


地区大会	開催日	開催場所
関西地区大会	7月8日(日)	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス
金沢草の根大会	7月15日(日)	国際高等専門学校
東日本地区大会	9月1日(土)	パシフィコ横浜
中部初級者大会	9月2日(日)	名古屋工学院専門学校
北陸信越地区大会	9月23日(日)	新潟コンピュータ専門学校
全日本学生大会	9月30日(日)	東京都立産業貿易センター 台東館
東北地区大会	10月7日(日)	置賜地場産業振興センター(長井市)
九州地区大会	10月21日(日)	福岡市科学館
中部地区大会	10月28日(日)	名古屋工学院専門学校



海外におけるマイクロマウス

アメリカ生まれのマイクロマウス競技は、欧米に加え技術発展を目指す日本・シンガポール・韓国・台湾・インドなどのアジアでも開催され、近年では中国が全国大会を開催するなど、各国ロボット技術者の力を競う、ロボットコンテストの世界標準となっています。日本からもチャンピオンを多数輩出しており、日本で行われる全日本マイクロマウス大会が世界各国から集まる世界大会となっています。



機器展示、協賛、スポンサーメリットについて

販売媒体	大会配布パンフレット、大会WEBページ掲載	
スポンサー メリットと 金額	ゴールド：特別協賛 A4サイズ1ページ、大会ブース展示（大）、WEBロゴ（大）、 参加者限定エリアに入れます。マウスパーティーへ5名ご招待いたします。 企業賞等、その他ご相談下さい。	50万円以上
	シルバー：協賛A A4サイズ1/2ページ、大会ブース展示（小）、WEBロゴ（小）、 参加者限定エリアに入れます。マウスパーティーへ3名ご招待いたします。	25万円
	ブロンズ：協賛B A4サイズ1/4ページ、会場でのパンフレット配布（A4サイズ2部）、 WEB企業名のみ。マウスパーティーへ2名ご招待いたします。	10万円
	広告協賛 A4サイズ1/4ページ、WEB企業名のみ	5万円
	賞品協賛 WEB企業名のみ	賞品提供
備考	- 原稿は白黒のみとなります。原稿は広告主から支給をお願いします。 - 大会終了後、大会で配布されたパンフレット、報告書をお送りさせていただきます。 <u>参加者ブースでの出展ブース、およびリクルート活動ができるのはシルバー協賛以上になります。</u>ブロンズ協賛に関しては、参加者限定エリアには入れません。お申し込み時にご注意ください。 ※特別協賛に関して - 採用活動をされたい企業様は特別協賛以上で複数年お願いします。 - 資本金5000万円以上の企業様はなるべく特別協賛をお願いします。	

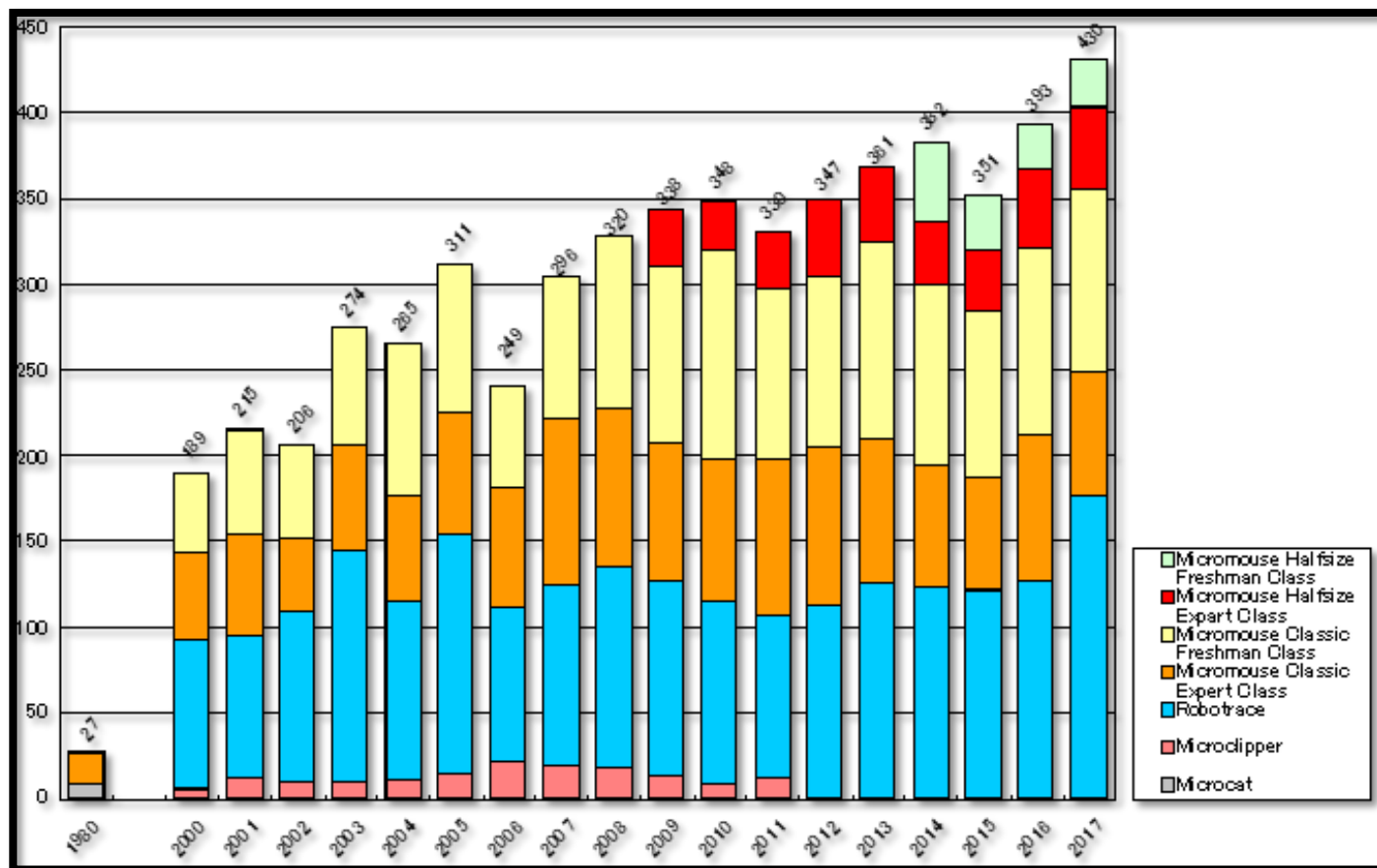
ロボット系新卒求人媒体としての
マイクロマウス競技参加者資料
シルバー以上向け資料

2018年版

全日本マイクロマウス大会の参加者数

わが国において「理科離れ」「科学技術の衰退」が懸念される中であって、全日本マイクロマウス大会の参加者は堅調に増加しています。各地区大会を含めると実際の参加者は年間1000人以上です。

全日本マイクロマウス大会におけるエントリー数の推移



参加者の所属大学名（抜粋）

大会参加大学（順不同）

- ・ 青山学院大学
- ・ 京都大学
- ・ 芝浦工業大学
- ・ 中央大学
- ・ 電気通信大学
- ・ 東京工業大学
- ・ 東京工芸大学
- ・ 東京農工大学
- ・ 東京理科大学
- ・ 名古屋工業大学
- ・ 法政大学
- ・ 明治大学
- ・ 早稲田大学
- ・ 東京理科大学
- ・ 福井大学
- ・ その他多数
- ・ 大会パンフレットをご参照ください。

学生気質

- ・ 小型の組み込み技術（回路設計、ファームウェア開発）が得意です。
- ・ 学部は工学部、理学部
 - しかしながら、学部に関係なく上位にいる学生が多く、学部採用にとらわれないことをお勧めします。実例としてマイクロマウスの過去の優勝者や上位陣でレーザー工学専攻の学生や、トライボロジを研究している学生、応用物理学科出身など多数います。
- ・ プロジェクト管理能力がある
 - 大会に出るためにスケジュール管理ができます。
 - 大会に出場するためのがんばりもききます。
 - 1-3人で1台仕上げる人が多いのですが、サークルや他の参加者に助けてもらったりしながら自力で完成させる努力が出来ます。
- ・ コミュニケーション能力がある
 - 大会上位者と交流することで技術情報を得たりするので、年齢に関係なく全国に友達ができます。
 - もちろん、他の人にも教えることもできるので先輩後輩のつながりも強いです。
- ・ 知識が幅広い
 - マイクロマウス競技は、電気回路、組み込みソフト、シミュレータ（アプリ）、メカ、人工知能アルゴリズムと幅広い知識があって初めて作れるロボットです。大会に出場するということはレベルの差こそあれ、いずれも少しはマスターしているということです。会社に入ってもブラスターがついているようにどんどん伸びます。
 - 技術に対する知識欲も旺盛で、自分で調べてどんどん進めていくタイプが多いです。

連絡先

全日本マイクログラウス大会
公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
事務局：渡邊 担当理事：中川、水川
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 末広ビル3F
TEL：03-5295-2060
E-mail：jimkyoku@ntf.or.jp

銀行名：住信SBIネット銀行（0038）
支店名：法人第一支店（106）
口座種別・番号：普通 1060839
口座名義：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
油田信一



公益財団法人ニューテクノロジー振興財団